

工事を止める！

沖縄・泡瀬干潟とサンゴの海が消えていく

沖縄本島東海岸に位置する泡瀬干潟とその浅海域は、多様な環境を有し、生物量も多く、絶滅危惧種や固有種が多数生息するなど国際的にも大切な生物多様性の宝庫です。

そんな生き物の楽園が、今また土砂で埋め立てられようとしています。

2009年10月、福岡高裁那覇支部はこの埋め立て事業には経済的合理性がないとして、公金の支出を認めませんでした。判決は確定し、埋め立て工事は止まったかに見えました。「コンクリートから人へ」を公約にした民主党新政権の誕生で、干潟は守られたはずでした。

ところが2010年8月、新政権は沖縄市が示した新たな計画案にいと簡単に同意し、2011年10月には埋め立て工事が再開されてしまいました。

司法判断をないがしろにして暴走する行政と、国民との公約を捨て去り環境破壊の無駄な公共事業に突き進む政治。東日本大震災の被害と福島原発事故の問題で困難を極めている中、防災上も問題が大きい埋め立て計画に血税が注がれています。

もはや法治国家とは思えない社会を変えるために、今こそ私たち国民が声を上げていかなければならないのではないのでしょうか。

判決無視・公約違反の埋め立て工事再開に
生き物たちの悲鳴が聞こえる



クビレミドロ

2011年12月4日(日) 14:00~17:00

会場●雑司が谷地域文化創造館 第2会議室

東京都豊島区雑司が谷3-1-7 千登世橋教育文化センター内
東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」2番出口上
JR山手線目白駅下車 徒歩約10分
http://www.toshima-mirai.jp/center/e_zoshigaya/

資料代●一般1000円/学生500円

主催●泡瀬干潟を守る連絡会
ラムサール・ネットワーク日本 (ラムネットJ)

後援●日本自然保護協会/日本野鳥の会/WWFジャパン

【主な内容】

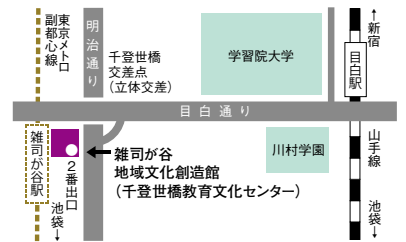
- 泡瀬干潟の埋め立てとは
～埋め立て計画の概要と経過報告
陣内隆之 (ラムサール・ネットワーク日本)
- 今、泡瀬干潟で起きていること
～ホットな現場の話題と問題点の解説
前川盛治 (泡瀬干潟を守る連絡会)
- 消えていく干潟とサンゴの海
～環境調査の結果から
安部真理子 (日本自然保護協会)
- 暴走する行政と政治を止めるために
堀 良一 (ラムサール・ネットワーク日本)
- 沖縄の唄
- ディスカッション

【問い合わせ】

ラムサール・ネットワーク日本
TEL: 090-8179-2123 (担当: 陣内)
メール: bi5t-jnni@asahi-net.or.jp

【ホームページ】

泡瀬干潟を守る連絡会
<http://www.awase.net/>
ラムサール・ネットワーク日本
<http://www.ramnet-j.org/>



泡瀬干潟埋め立てと新港地区浚渫



新港地区東埠頭の浚渫土砂を干潟・浅海域である第一工区域に投入して埋め立てる。既に西埠頭ができていないが、FTZの企業は1社も利用していない。FTZも空き地だらけ。

→東埠頭を浚渫する必要はない。

埋め立て予定地の新たな土地利用計画もまた、確定判決で「経済的合理性がない」とされた内容と大差なく、需要予測が過大で科学的根拠がないペテン・トリック。また災害防止対策がないため、地震による津波被害や液状化、さらには台風や高潮などの災害にも対応できない。

→新計画案に妥当性はない。

工事再開は司法無視の公約違反

2009年9月 泡瀬干潟埋め立て中止を公約した民主党政権の誕生。前原大臣が「一区中断、二区中止」を明言。

2009年10月 泡瀬干潟埋め立て事業に経済的合理性はないとして、公金支出差し止めの判決が確定。

埋め立て工事は中断に。

↓
2010年7月30日 沖縄市が新しい埋め立て計画を公表。
2010年8月3日 前原大臣、沖縄市の新計画案を了承。埋め立て再開を決定。

2011年10月 埋め立て工事が再開。第一工区の干潟・浅海域に浚渫土砂が投入される。

→事業者による我田引的な検証では、民主的な手堅い検証とは言えない。

→工事再開を急ぐ理由はどこにもない。

泡瀬干潟は世界の宝

泡瀬干潟と浅海域は、ラムサール条約の潜在的候補地であり、ここにしか存在しないさまざまな生物が生き、渡り鳥が羽を休める国際的にも大切な場所。これまでの工事でも自然環境は悪化しているが、埋め立て工事再開で多様な生き物の楽園がいよいよ消滅してしまう。(写真: 小橋川共男)



ウミエラ



ミナミコムツギガニの群れ



リュウキュウキッカサンゴ



ヒメマツミドリイシと海草



トカゲハゼ